	令和元年	度 業績	優秀者返還	是免除申記	青書	(様式1−1表)
					令和	年 月 日
独立行政法人 日本学生支援機構理	事長殿	直接入力	」は可、修正液使 。	用は	申請生	手月日
本申請書記載事 免除認定を受け を行うときにはそ	た場合、認定後	において日本	マ学生支援機構が さのうえ、特に優			
日本学生支援機構に同じ氏名で記入してくは、()書きで、改姓	ださい。改姓した	:場合	フリガナ - 氏 名		本人押印	T (P)
大 学 院 名	7					J
課	呈□ 修士(博士	上前期)課程	□専門職学位	立課程	┛□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	專士後期) 課程
研究科名・専攻名	3	//	学	籍番	号	
奨 学 生 番 5	当 6 当てはください	まる課程を■ い。	(黒)として 生	年月	昭和平成	年 月 日
現住原	F T		電話	番号	()
■大学院における 題 目	研究課題等	の (実 場·	定結果通知を令利 住所をご記入くだ 聖家等)をご記入く 合は、4月以降、2 機構あてにも住所	さい。未定の [:] ださい。リレー スカラネット・ノ	場合は、確実に -ロ座に記載し ペーソナル等に	た住所と異なる より日本学生支
概						
■教育(究活動等	の業績					
□ 1 学位論文その	他の研究論文	□ 2 の課題 課程の	設置基準第16条に定と についての研究の成り 修了要件に関する事 注:(後期)課程は非調	果(修士 日 3	験及び審査の編	単第16条の2に定める試 哲果(博士前期課程の □る事項のため、博士 は非該当)
■	関連した)著 ースその他の著 2 に掲げるもの	□ 5 発明			う 授業科目の	成績
□ 7 研究又は教育 務の実績	「に係る補助業	□8 楽、演	攻分野に関連した 関劇、美術その他 会における成績			に関連した)ス 技会における成

□10 (専攻分野に関連した) ボランティア活動その他の社会貢献活動の実績(公益の増進に寄与した研究業績)

記入の際は裏面記載の【記入上の注意】を参照。

特に優れた業績内容の要旨を800字程度で枠内に記入してくだ さい。

論文、著書及び受賞については、それぞれ作成又は受賞の年月 を記入してください。また、発表、学会誌等は、その名称、巻、号 等を記入してください。

- ・業績証明資料共に、両面印刷し(押印したうえで)、原本 1部及びコピー8部の合計9部を用意して、所属の研究科 等の奨学金担当係に申請してください。
- ・第一種奨学生の課程別対象者の上限3割までが学校 推薦できます。

申請者はリレーロ座の手続きを必ず行って下 なお、採用者は、採用時に返還誓約書を提出

令和2年度に貸与期間が残る者で、令和2年4 月以降の奨学金を辞退する者は、5月頃にリ レーロ座等の関係書類を送付する予定です。 「手続き予定」は「令和2年5月」とご記入ください。

【返還誓約書の提出について】

該当するいずれかの□を■にすること。(提出予

□ 提出済み

□ 提出予定(令和

【口座振替(リレー口座)加入申込の手続きについて】

該当するいずれかの□を■にすること。(手続き序定の場合は予定年月も記載)

合は提出予定年月も記載)

月 大学へ提出予定)

□ 手続き予定(令和 年 月) □ 手続き済み

提出または手続きが確認できない場合、申請を受け付けません。

【記入上の注意】

済みです。

- 1. 「課程」欄は、該当するいずれかの口を■にすること。
- 2. 「現住所」は大学へ届け出ている住所を記入すること。貸与終了後に連絡先が変更となる場合、返還のてびき (23頁)を参照のうえ、必ず5月末までに機構に届け出ること。
- 3. 「教育研究活動等の業績」欄は、該当する□を■にすること。ただし、専攻分野に関連した業績に限る。
- 4. 教育研究活動等の業績について、「特に優れた業績の要旨」欄に要旨を800字程度で記載すること。
- 5. 大学院の成績証明書、特に優れた業績であることを証明する資料及び業績一覧表を必ず添付すること。 (成績証明書は「教育研究活動等の業績」欄で「授業科目の成績」を選択していない場合でも提出が必要。)
- (注)これは様式1-1(裏面)です。印刷は、様式1-1表裏の両面刷りとしてください。